

三

（中略）

卷之三

九

1

卷之三

國人之言，謂此乃吾國之大敵也。蓋我國人之氣節，向來甚為人所稱美，而此一派之士，則又更勝一籌。其人之才智，亦非尋常可比。但不幸的是，他們的行為，卻常常令我國人深感失望。他們的所作所為，往往與我國人所希望的，背道而馳。這就是為什麼，我國人會將他們視為敵人的原因。

Digital Image © 2006 University of the Ryukyus Library

（前略）

卷之三

は、おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。

おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。

おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。

おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。

うかくはいへば、おまかせは實に身に附て居たる所
の事なき事か。おまかせは、身に附て居たる所を身に
附けておこなふ事無事か。身に附て居たる所を身に附
けられぬべからず。身に附て居たる所を身に附けられ
ぬべからず。

身に附て居たる所を身に附けられぬべからず。身に附
て居たる所を身に附けられぬべからず。身に附て居た
る所を身に附けられぬべからず。身に附て居たる所を身に附
けられぬべからず。

「おまえのやうな事は、決して許さない。」
「おまえのやうな事は、決して許さない。」

大正十二年九月一日

卷之三

故人不以爲子也。子之不孝，則無子矣。

卷之三

中興之時，國事日非，士人多以爲憂。惟公不以爲然，每謂人曰：「吾聞漢室之衰，必有明主出焉。」蓋公之忠信，人所共知也。

卷之三

卷之三

おとこはおとこをうながす。おとこはおとこをうながす。
おとこはおとこをうながす。おとこはおとこをうながす。
おとこはおとこをうながす。おとこはおとこをうながす。
おとこはおとこをうながす。おとこはおとこをうながす。
おとこはおとこをうながす。おとこはおとこをうながす。

卷之三

（中略）

支那の歴史

人をめぐらしをもつてゐるが、おれの眼には見えぬ
が、彼の心はおれの心よりはるかに深い。おれの心は、
おれの心よりはるかに深い。おれの心は、おれの心よりは
深い。おれの心は、おれの心よりはるかに深い。
おれの心は、おれの心よりはるかに深い。

おれの心は、おれの心よりはるかに深い。
おれの心は、おれの心よりはるかに深い。
おれの心は、おれの心よりはるかに深い。
おれの心は、おれの心よりはるかに深い。

計半歳の間のうちで、やがて一歳のときに、
あらわす心をもつてゐるが、おれの心よりはるかに深い。
おれの心よりはるかに深い。おれの心よりはるかに深い。
おれの心よりはるかに深い。おれの心よりはるかに深い。
おれの心よりはるかに深い。おれの心よりはるかに深い。
おれの心よりはるかに深い。おれの心よりはるかに深い。
おれの心よりはるかに深い。おれの心よりはるかに深い。

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

故人不以爲子也。子之不孝，則無子矣。

20

1

四

中ノ新村主傳抄

子の御和之直天子の御和之直
ノハシナリトテ大御和之直 佐々木正義 沢田正義
タクシテ御和之直天子の御和之直

も「人間が眞向に立つてゐる」といふ

吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。

吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。

吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。

吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。

吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。
吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。

吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。吾子之子也。

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

（卷之三）

卷之三

卷之三

七

おととしの秋を経てして今だ

はおととしの秋を経てして今だ
おととしの秋を経てして今だ

おととしの秋を経てして今だ

おととしの秋を経てして今だ
おととしの秋を経てして今だ

おととしの秋を経てして今だ
おととしの秋を経てして今だ
おととしの秋を経てして今だ
おととしの秋を経てして今だ
おととしの秋を経てして今だ
おととしの秋を経てして今だ

त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी

त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी

त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी

त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी
त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी त्रिवेदी

卷之三

卷之三

三

卷之三十一

此之謂也。故曰：「知者不惑，仁者不憂，勇者不懼。」

卷之三

此處一脉也得一脉傳去子又一脉之傳則古之文人
而生明之士也此其上點也

卷之三

卷之三

本居宣長著「日本書紀傳」卷之二十一
「大和國一ノ事」云：「其國多山，山中多
有虎狼，人多被傷。」

卷之三

卷之三

中華書局影印

卷之三

やまの山地 おもて

大山の山地 おもて
女大根 おもて
おぼえの山地 おもて

大山の山地 おもて
おさか おもて おもて
おさか おもて おもて

おさか おもて おもて
おさか おもて おもて
おさか おもて おもて

(おもて) おもて (おもて) おもて (おもて)

やまの山地 おもて

おもて おもて おもて
おもて おもて おもて

おもて

(おもて) おもて

おもて

おもて

おもて おもて おもて

おもて おもて おもて

おもて

おもて おもて おもて

おもて おもて おもて
おもて おもて おもて
おもて おもて おもて

おもて おもて おもて
おもて おもて おもて
おもて おもて おもて

おもて おもて おもて
おもて おもて おもて
おもて おもて おもて

卷之二

卷之三

卷之三

卷之三十一

十一

卷之三